

# 石川勤労者医療協会 2021年度事業計画

(2021年3月27日の第11回法人理事会で決定)

## ○コロナ禍の下、拡大する社会的格差を是正し

### 患者と地域住民の人権と生命を守り抜こう

## ○法人・事業所の存続をかせ、9億円の債務超過

### を計画的に解消してゆこう

#### I、はじめに

- ・2020年度はコロナ感染から患者・利用者の命を守るため最前線で奮闘しました。2021年度も、職員や入院患者・介護施設入居者で陽性者が発生しても、濃厚接触者を出さない、クラスターを発生しないことを徹底します。
- ・経営改善をやりとげ、債務超過を中長期計画で解消してゆきます。

#### II 2021年度の品質方針

- 1、日本国憲法の理念を生かし、平和と福祉あふれるゆたかな社会の構築に貢献します。
- 2、貧困と格差、無差別・平等・公正・公平な医療介護を実践します。
- 3、安全、倫理、共同の営みを軸とした総合的な医療・介護の質の向上に努めます。
- 4、民医連綱領にうたう使命を自覚し目標を実現する担い手を地域と職場で養成します。
- 5、ヘルスプロモーションの観点から、生き生きと働き続けられる職場づくりを進めます。

#### III 2021年度の実業計画

##### 1) 事業目的を担うにふさわしい法人運営の改善

- ・法人の経営責任を負うのは理事会です。理事会が経営改善をけん引してゆきます。
- ・法人会員をその求められる役割にふさわしく、地域の方々を中心に会員入会を進め、200名まで拡大します。

##### 2) 無差別平等の医療・介護の推進

- ・全医科事業所で取り組む無料低額診療は、地域の社会福祉協議会などの関係諸団体との連携をすすめ、健康友の会と地域活動を強化し、対象者の掘り起こしを進めます。法人全

体としての利用率10%を回復します。(19年度は9.0%)

- ・病院、診療所を問わず、通院患者だけでなく、在宅、保健予防活動、地域活動含めた「外来機能の総合的強化」を図ります。その一環として癌疾患も含めた慢性疾患管理を改めて強化してゆきます。通院患者の中からも私たちが活動するこの地域からも、がんの早期発見に努め、進行がんの患者を出さない様に務めます。
- ・看護小規模多機能事業所の開設準備室の体制と機能を強化します。
- ・常勤歯科医師を迎えた城北歯科は、複数常勤医師体制を目指します。医科歯科連携を強化します。

### 3) 友の会とともに安心して暮らせるまちづくりの推進を

- ・新型コロナウイルスの影響が今後も継続することを前提に、その下でも感染予防を徹底し健康づくり運動や地域訪問活動に積極的に取り組みます。
- ・すべての健康友の会会員が年一回の健診を受けられるようにします。自治体健診の受診とともに、何らかの理由で受られなかった方々を対象とした「友の会健診」を具体化します。
- ・地域には、医療・介護問題だけでなく、様々な地域要求・地域課題があります。支部活動、班活動を力に、その実現にむけ、活動計画や推進体制を作成します。
- ・仲間増やし、担い手づくりをすすめながら元気誌読者を増やし、友の会の拡大強化を図ります。
- ・各事業所での事業所利用委員会などの定期開催を進め、事業所活動と健康友の会活動は一体のものとして取り組みます。

### 4) 次代を担う職員の育成

- ・薬剤師、看護師の確保をこれまでの実践を踏まえ継続します。看護師は病棟・外来・在宅・施設の各専門的・総合的な看護師育成をすすめます。
- ・事務幹部養成は、日常的な場面で「育成」の視点で接しているかどうか、一人一人の実践・意識が問われます。トップ幹部の育成では民医連内の研修だけでなく、日本病院会などの主催する養成研修への参加を継続します。
- ・事務職員の「総合職」としての計画的な人事異動を推進します。

### 5) 労働環境の整備、労働条件の改善

- ・出退勤システムを全事業所で稼働させます
- ・年間休日問題も含めた「労働条件のあり方、働き方の見直し」について法人として方針化し、労使協議を開始します。

#### 6) いのちと平和、民主主義の取り組み

- ・生命と健康、生活を守る医療介護福祉事業は、日本国憲法の理念そのものです。その観点から様々な課題での「学習と行動」をすすめる。
- ・核兵器禁止条約が、2021年1月22日に発効しました。それを力に、地域での日常的な平和活動の実践を世界に広げるため、情報発信し続けます。

### IV 医師の確保と育成を成功させ、経営改善を必ずやり遂げよう

#### 1) 医師確保の目標と手立て

- ・2021年4月に6名の初期研修医が入職します（マッチング3名、金沢大学の地域医療連携実践プログラムより2名、その他1名）の計6名です。2022年度もフルマッチを目指します。
- ・城北病院の新卒初期研修医師の定員は2020年度から、従来の7名から4名に削減されました。7名の回復を求める働きかけを継続します。
- ・医学生のなかに私たちの実践への共感を広げ、奨学生を新たに4名増します。
- ・2021年度の専攻医（総合診療科）の入職はありません。既卒の常勤医は2021年1月から1名の入職ありました。2021年度も2名の受け入れを目標に、引き続き既卒医師確保の取り組みを強めます。
- ・城北病院での総合診療医養成のアピールを強め、3人の専攻医の受け入れを進めます。
- ・城北病院での各科を担う医師の養成は、大学病院や他県民医連との連携も進め、計画的に取り組めます。診療所医療を担う医師の養成を進めます。
- ・医師の「働き方改革」は勤務時間管理に留まらず、医師の働き方自体の改善が必要です。各職種を力を引き出しながら、タスクシフト・シェアリング（医師業務の共同化、移管）を進めます。

#### 2) 石川勤医協の経営の現状と打開の道

石川勤医協の経営は、この間の職員、友の会の奮闘にもかかわらず悪化が続いています。大幅な赤字決算を続けた結果、法人の全財産合計額（資産）よりも、協力資金や銀行借入など返済しなければならない借金額（負債）の方が多という「債務超過（純資産がマイナス）」の状態となっています。その額は2021年2月末で、▲9億4637万円。累積赤字額は同15億0990万円となっています。このままの経営状況が続けば、資金不足のため事業の継続が困難となります。2020年度に新型コロナによって被った減収や損失は、2021年度単年で回復できるものではありません。より長いスパンで事業継続に向けた中長期計画が必要です。現在の法人中期計画を、6月の総会で「中長期計画」として見直します。

事業所ごとに見ても、多くの事業所が債務超過かつ累積赤字を抱える状況にあります。2021年度は「おんぼら〜と」「健生クリニック」「上荒屋・ひだまり」で、経営改善策を柱にした中期構想を明確にするPJを法人に発足させます。

#### 6) 2021年度の必要利益確保

- ・2021年度の必要利益は7100万円とします。事業所ごとの経常利益目標は別表（文末資料①）の通りです。
- ・経営改善のためには、「城北病院・診療所」と「寺井病院・手取の里」の予算達成が不可欠です。城北は、従来の高稼働率に依拠した収益構造を変えるためには、日当点の引き上げが必要。城北診療所での自動受付機、精算機導入による事務業務の効率化を進めます。また、①城北病院の「後方連携」を強化する。大学病院、地域の医療機関や介護事業所との地域連携の抜本的強化を図ります。②入院だけでなく外来診療においても、癌疾患を含めた慢性疾患管理の強化を進めます。それらは何より「医療の質の向上」に寄与することであり、経営改善の前提でもあります。
- ・寺井病院・手取の里は、規定の経営改善方針の実践を貫く管理運営がカギです。法人からの支援体制を強めます。
- ・資金結集の目標を、寄付金1500万円、協同基金1億円とします。
- ・業務効率化PJの答申を具体化し、超勤時間を前年比10%削減します。
- ・人件費率63%台（19年は64.6%。20年は66.1%）を実現し、職員一人当たりの事業収益の年間100万円の増加を図ります。

## V、個別課題

- 1) 職員の県連内外の法人・事業所への出向を進める。昨年に続き、1年当たり10名の職員を県連内外の法人・事業所に出向させる。2020年度から既に5名出向済みであり、新たに5名を組織します。
- 2) 職員総数の拡大を抑制します。組織の維持・発展のためには継続的な新卒者採用は必要ですが、職員総数の安易な拡大ができる状況ではありません。業務改善・効率化を進めながら、職員総数の拡大を抑制します。
- 3) 城北病院の後方連携機能をもつ、看護小規模多機能と住まいを開設します。24時間365日、地域で中重度の方々の医療と介護を支える在宅支援機能を強化し病棟から在宅への流れを作ります。

- 4) GHおんぼら～との今後の在り方の確定します
- 5) 上荒屋クリニック・ひだまりの中期構想の検討に着手します。
- 6) 健生クリニックの中期構想PJを発足させます。2024年建て替え開設を目標に、ハード、医療構想、職員体制を一体的に検討します。
- 7) 部門別損益管理の推進

以上

..... 【資料】 .....

2021年度 事業所別経常利益予算 (単位:千円)

	2020年度予算	2021年度予算
城北病院	▲52,923	▲19,453
城北診療所	71,239	4,332
城北クリニック	1,309	3,775
城北歯科	▲817	8,009
輪島診療所	15,141	23,345
羽咋診療所	2,585	▲2,246
健生クリニック	1,335	716
上荒屋G	3,400	▲14,203
寺井病院	1,253	▲11,146
手取の里	▲16,164	▲12,840
小松みなみ診	5,551	7,010
たぶの木	▲13,926	507
おんぼら～と	▲19,000	▲24,332
訪看すみれ	4,329	4,580
ふれあい	▲6,579	▲4,581
本部	53,362	6,073
法人合計	51,140	▲30,544